



ITU-T SG2 2月会合

NTT アドバンステクノロジー株式会社*

ほんだ まりこ
本多 麻理子



1. はじめに

今会期（2025-2028）の初回となる第1回ITU-T SG2会合が、2月5日～14日にジュネーブで開催された。44か国から205名の参加があり、新体制にて活発な議論が行われた。SG2のトピックスは、Operational aspects of telecommunications and ICTs（電気通信及びICTの運用側面）であり、電気通信サービスのナンバリング、識別子、ルーチング及び通信サービス定義などに関する国際的課題への取組みを検討するWorking Party 1（WP1）と電気通信（telecommunication）及び情報通信技術（ICT）の管理、運用、そして、それらのインタフェースについて検討するWP2により構成される。

2. SG2における重要課題

SG2では、国際における電気通信及びICTの運用（オペレーション）に関する規定を行う。特定の技術領域に限定した議論ではなく、あらゆる観点から発展しつづける技術に対応する電気通信やICTの運用側面の課題を検討する。特に、電気通信で使用される番号、識別子等は有限なリソースであり、それらの管理に関する規定はSG2において最も重要な課題の1つである。また、技術の進化により、番号、識別子等の使用が変化することにより引き起こされる問題への対処の検討も、近年の重要課題とされ各国が注目する。以下、筆者が参加するWP1で特に重要な4課題について説明する。

2.1 番号、識別子等の管理

進化し続ける通信技術において、番号、識別子等リソースは恒久的に利用されるものである。そのため、SG2では、過去に作成した勧告は、現状に則した規定となるよう改訂を行うことが重要である。例えば、勧告E.164：The international public telecommunication numbering plan（国際公衆電気通信番号計画）（1984年発刊）はその一例であり、今会合の凍結まで、22版の改訂、修正、補足を行っている。このように、電気通信分野を支える技術の変化の

如何なるフェーズにおいても、適正に使用されるために、現在に至るまで繰り返し改訂作業を実施している。

また、近年では、国対応に割り当てられる番号、識別子等のリソース以外に、国際のサービス提供を見据え、それらのリソースを、Sector Memberなどのオペレータが、ITUに直接申請することを許容しており、その申請件数は増加している。このように、番号、識別子等のリソース自体の規定以外に、それらリソースの管理方法を規定する勧告についても、リソース割当て基準や手順を規定した既存勧告の作成当時に前提としていた環境や条件からの変化を考慮し、現状及び将来を見据えた国際リソースの管理に関する新たな規定を作成することも重要な課題である。

2.2 通信で悪用される番号、識別子への対処

近年、犯罪に利用される通信の問題は重大であり、各国とも、国内及び国際社会においてその対策が急務である。SG2では、特に番号の偽装・なりすましへの対策に関する議論や、新規のサービスの定義、ユースケースの検討が進められている。前会期に引き続き、参加国から取組み等に関する寄書が提出され、SG2会合の場において対策等の状況が共有される場合がある。SG2の場で情報を共有する国、組織は、現在、限定的であるが、提出された寄書（情報）を元にした議論、発言などから各国の取組みの方向性の把握につながる可能性がある。国際的な取組みの標準化議論の進捗には注視する必要がある重要課題である。

2.3 インターワーキング、サービス定義

既存網とのインターワークの検討として、番号ポータビリティのメカニズムを整理したE.164補足文書があり、各国のユースケースがAppendixにまとめられている。サービス定義については、複数の新興サービスをあらゆる側面から検討するため、WIが互いに関連性を持ち、また、国ごとの規制に依存する面もあり、そのため、事例集として作成されるテクニカルレポートは、勧告作成の前段階として重要な作業である。また、ITU-Dの検討や、SG2のRegional group（アフ

*1 執筆時の所属



リカ及びアラブ諸国等)の検討とも関連する課題もあり、それらグループとのリエゾン関係にある。

2.4 災害救済・緊急通信サービス

前会期、SG2配下で活動をしてたFG-AI4NDM (Focus Group on AI for Natural Disaster Management)からの課題を引き継ぎ検討。Resolution 100 (アフリカ共通緊急番号)とも関連する課題であり重要な位置付けである。

3. 2月会合における議論

2章に示したWP1における重要課題の4項目に関連する議論、検討状況をまとめる。これらの課題はいずれもWP1のQuestionで議論されている。

3.1 番号、識別子等の管理に関する議論

勧告承認	
勧告 #	タイトル及び概要
E.1120	Assignment procedures for international telecommunications Numbering, Naming, Addressing and Identification (NNAI) resources (国際電気通信 NNAI の割当てプロセス)
【概要】新勧告であり。国際リソース申請対応プロセスの規定。Member States以外のメンバへのDirector of TSBが直接割り当てる国際共有リソースの申請から割当てのプロセスを規定する。TSBが管理する国際番号の管理データベースの公開情報であるITU-Tウェブサイトへの情報掲載の規定を追加、修正後承認。	
E.190	Principles and responsibilities for the allocation, reservation, assignment, reclamation and management of international telecommunications Numbering, Naming, Addressing and Identification (NNAI) resources (国際電気通信NNAIリソース管理のための規則及び責務)
【概要】改訂。国際NNAIの割当ての基準・責務の規定。2024年6月に承認されたE1121 (監査)に関する記述を追加。エディトリアル修正後承認。	

勧告案凍結	
勧告 #	タイトル及び概要
E.164	The international public telecommunication numbering plan (国際公衆電気通信番号計画)
【概要】改訂。Country Code (CC) の現行5カテゴリ*2に、「IoT/M2M」、「other global services」、「global mobile satellite systems」の3カテゴリを追加し、計8カテゴリに修正。改訂作業が主な目的は、IoTへのE.164番号割り当てるためにIoT/M2Mカテゴリを追加。併せて、ITUで規定されていないグローバルサービスを対象としたカテゴリ及び現状のInmarsatが使用する番号リソースについてもカテゴリを追加規定した。	

E.118	Numbering resources to identify Accounts for charging telecommunication services (電気通信サービス課金アカウント特定のためのネーミングリソース)
【概要】改訂。IINの上限値 (7桁) を解除し、サブサイン及び割当てブロックの細分化を可能にすることにより、番号の有効利用の対策を含めた改訂。	
E.156	Guidelines for ITU-T action on reported misuse of ITU-T E.164 number resources (E.164番号の誤用報告にITU-Tの対応のガイドライン)
【概要】改訂。誤用報告への対応者の明確化及び誤用報告の番号種別 (3分類*3) 修正、追加種別への対応を追記。誤用報告に対するTSBプロセスの明確化、正確性の向上を目的とする。	

新WI	
勧告 #	タイトル及び概要
TR.NIN-SIM	Technical Report on NIN-SIM Integration (NIN: National Identification Number (個人番号) とSIMの統合のテクニカルレポート)
【概要】National Identification Number (個人番号) とSIMの統合管理。シエラレオネからの新WI提案。Q1にて検討。	

継続検討	
勧告 #	タイトル及び概要
E.164.1	Criteria and procedures for the reservation, assignment and reclamation of E.164 country codes and associated identification codes (ICs) (E.164 CC/ICの割当て基準と手順)
【概要】改訂作業。E.164の改訂内容を追従し、追加カテゴリ (IoT/M2M、other global services、global mobile satellite systems) に関する割当て基準を追加規定。	
E.101	Definitions of terms used for identifiers (names, numbers, addresses and other identifiers) for public telecommunication services and networks in the E-series Recommendations (Eシリーズ公衆網サービス識別子 (NNAI) のために使用する用語定義)
【概要】改訂作業。Eシリーズ公衆網サービス識別子 (NNAI) の用語を定義するドキュメント。作業中に複数の勧告で使用する用語も含めた改訂作業のため、整合性確認要。エディティングセッションを別途開催。2025年9月会合で凍結を目指す。	
E.IoT-NNAI	Internet of Things Naming Numbering Addressing and Identifiers (IoTのネーム・番号・アドレス・識別子)
【概要】IoT環境にて使用する国際的NNAIを規定。番号構成、割当て、申請の要件を規定。今後個別セッションを開催、最終合意文書を作成し、2025年9月会合にて凍結予定。	

*2 The international E.164-number ①for geographic areas, ②for global services, ③for Networks, ④groups of countries, ⑤for Trials

*3 ①Member Stateにアサインしている、②Member State以外のエンティティ (オペレータ等) にアサインしている、③アサインしていない ("spare" or "reserved" など)



3.2 通信で悪用される番号、識別子への対処に関する議論

テクニカルレポートの合意	
勧告 #	タイトル及び概要
TR.MMWF	Methodologies to mitigate Wangiri Fraud (ワンギリ対策)
【概要】 ワンギリ対策のテクニカルレポート。ワンギリへの対策として有効な対処方法をまとめたレポート。Q1で作成。最終修正文書にて合意された。	

継続検討	
勧告 #	タイトル及び概要
E.RAA4Q.TSCA	Registration Authority Assignment criteria to issue digital public certificates for use by Q.TSCA (Q.TSCAに基づくデジタル証明書発行のための登録権限割当てクライテリア)
【概要】 2024年6月のSG2会合にて作成合意されWIであり、SG11で作成したQ.3057で規定する網間信号方式フレームワークにおけるデジタル公開証明の登録局選定基準を規定する。SG11で作成したQ.3057、Q.3062、Q.3063を追加しSG11との関係性を明記した。本WIはSG11で作成中のQ.TSCAの議論と合わせ継続検討とした。	

その他の議論として、通信で悪用される番号、識別子への対処に関する情報共有があった。

カナダ ISED Canada (イノベーション・科学経済開発省) より、違法な呼への対処状況報告の寄書提出があった。導入状況、導入効果、課題などの情報が共有された。

そのほか、セネガルと韓国より国内の対処 (STIR/SHAKEN 以外) に関する寄書提出があり、セネガルで実施した mobile telephony subscriber identification コンプライアンス確認の活動の紹介及び韓国政府による、番号変換を悪用した詐欺呼などへの対処の情報が共有された。

3.3 インターワーキング、サービス定義

勧告案凍結	
勧告 #	タイトル及び概要
E.371	Deemed impermissible traffic (不許容とみなされるべきトラフィック)
【概要】 新勧告。不許容とみなされるべきトラフィック (Deemed impermissible traffic) の定義、ユースケース、インパクトについて規定。凍結によりE.371が付与された。	

新WI	
勧告 #	タイトル及び概要
E.100改訂	Definitions of terms used in international telephone operation (国際電話オペレーション用語定義)
【概要】 通信サービスのオペレーションに関する用語を定義する勧告改訂作業。Q3にて検討。	

継続検討	
勧告 #	タイトル及び概要
E.164 Supplement 2	Number Portability (番号ポータビリティ)
【概要】 各国の実現のアーキテクチャ事例及びIoTにおけるポータビリティのユースケース検討。各国からの事例インプットを反映し及びE.164のカテゴリについてユースケースの検討の追加し内容の充実を図る。	

3.4 災害救済・緊急通信サービス

新WI	
勧告 #	タイトル及び概要
TR.AICNHM	AI for communications: Towards natural disaster management (自然災害管理のためのAIコミュニケーション)
【概要】 新WI。FG AI4NDMの成果資料のテクニカルレポート化。Focus Groupのアウトプットに、SG2からのインプットも反映した文書を作成予定。	

WP2 (Q5、Q6、Q7) については43件の寄書提出があり、内11件が新WI作成に関する提案寄書であった。本会合で、10件のWIの承認 (consent)、9件の新WI作成が承認され、引き続きラポータ会合も頻繁に開催し議論を進める。

4. おわりに

電気通信サービスのグローバルな広がりとともに、更に多様化する電気通信技術や、変化する環境において、有限なリソースである番号及び識別子の電気通信における適切な運用・管理は重要である。このような状況の中、SG2は国際電気通信における国際リソースの適切な割当・管理の検討とともに、近年では特に、オペレータ等が直接申請する国際共有リソースに関連する規定の適用、明確化を進めている。今会合では、E.164の改訂案が凍結するとともに、グローバルなIoT/M2Mサービスのために、E.164の共有リソース+883の割当てをSG2で合意したことは大きな成果と考えられる。これらのリソースを利用し、より幅広いIoT/M2Mサービスの展開が期待される。